

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和2年度 「リロングウェ県ニヤマ小学校整備及び就学前幼児教育用 教室整備計画」

起工式

2020年12月5日



定礎を行う岩切大使（左）とムカカ外務大臣（右）



スピーチを行う岩切大使（左）とムカカ外務大臣（右）



（左）喜びの歌と踊りを披露するニヤマ小学校児童
（右）感謝の踊りを披露するニヤマ地域女性グループ



ニヤマ小学校運営委員およびプロジェクト関係者

2020年12月5日、マラウイ国中部リロングウェ県ニヤマ小学校にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力「リロングウェ県ニヤマ小学校整備及び就学前幼児教育用教室整備計画」の起工式が行われました。式典には、ムカカ外務大臣（地元選出国會議員）も列席し関係者が祝辞を述べました。

同年12月、日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力プロジェクトを通じて、ニヤマ小学校に94,976米ドルを贈与しました。ニヤマ小学校はこの資金を通じて、小学校用と就学前幼児教育用の5教室とトイレ11室の建設および既存の6教室の改修を行い、児童用机280台を設置します。

式典で岩切大使は、本プロジェクトを成功させるためには適切な資金管理や建設工事の監視が必要であると述べ、中央および地方レベルの政府を含むすべての関係者が本プロジェクトに積極的に関わり、監視および必要な支援を通じて品質の高い強固な教室建設を行い、基準に合った児童用の家具を設置するよう要請しました。

大使はさらに、プロジェクト申請に関して、たゆまぬ努力を行ったニヤマ小学校運営委員会を称賛し、本プロジェクトの成功に向けて継続して取り組むことを期待すると述べました。また地域関係者および住民に対して、本案件を地域全体のものとして捉えてプロジェクトサイト周辺の疑わしい行動に対して地域代表チームに報告するように伝えました。